



「SDGs 未来都市うべの取り組みとESD」

宇部市連携共創推進課 課長 藤田 美佐子

本市では、公害克服の歴史を背景として、SDGs 未来都市として「人財が宝」をキーワードに、SDGs 達成に向けて「持続可能なまちづくり」に取り組んでいるところです。

SDGs は私たちの日常生活や地域活動とも密接に関係していることから、宇部市では、現在、本市のまちづくりの指針となる第五次宇部市総合計画に基づき、SDGs の理念を取り入れて地域課題の解決に取り組むなど、施策とSDGs 17のゴールとの関係性を意識しながら目標達成を目指しています。

その「SDGs 未来都市うべ」としての特色は「人財の育成」であり、学校教育での人財育成をはじめ、市民や児童・生徒に向けた出前講座や探究学習支援、企業向けの啓発活動、地域づくり、共生社会の実現など、社会・経済・環境の各分野において統合的に人財育成に取り組んでいるところです。

なかでも、主に小学生・中学生を対象とした教育プログラム「せかい！動物かんきょう

会議」では、教室プログラム、動物園プログラム、全体会議プログラムなどを通じて、自然と人間が共生・共存していくための解決策を話し合い、世界的・第三者的視点に立った多様な発想・行動ができる人財の育成を目指しているところです。

例えば、教室プログラムでは、子どもたちが動物の立場に立ち、人間から受けている様々な問題や脅威について考え、今度は人間の立場から、その問題について解決方法を考え議論し宣言することを行います。

この一連のプロセスを通して、他者の立場を理解し、多様性を認めていく態度、多面的に考え解決する力を身に付けるなど、ESDが目指す価値観や能力を養うことが可能となります。

これからも宇部市は、地域に受け継がれてきた「共存同栄・共同一致」の精神を基調に、企業や大学、市民、行政など多様な主体との「共創」のもと、地域課題の解決に向けて「人づくり」に取り組んでいきます。

1月のイベント情報

- 1月11日(土) 14:00-16:00 新川ふれあいセンター
環境サロン「食料安保と一次産業の重要性」中村隆夫さんほか
- 1月26日(日) 9:30-12:00 宇部市立図書館2階
ESD研修会 参画団体によるパネル展示及び説明、学校教育課及び社会教育課による講演、高校生を中心としたESDディスカッション
- 1月26日(日) 13:00-16:30 宇部市立図書館2階
渡邊祐策翁生誕160周年記念 SDGs語りの場～私たちが考える宇部の未来～ 講師：渡邊裕志さん 高校生登壇



宇部市環境学習ポータル
サイトうべっくる
<http://ubekuru.com/>

詳しくは うべっくるHP まで

宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し(近隣の有料駐車場等をご利用ください)

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekuru@gmail.com

開館時間 9時～17時 HPアドレス <http://ubekuru.com/>

休館日 土・日、年末年始(12月29日～1月3日)



HomePage



facebook



X



NPO法人うべ環境コミュニティ

地域と学校の連携・協働活動について

常盤地区社会教育推進委員会 河井 譲治

令和二年に社会教育推進委員会のあり方について見直しが行われ、委員会の任務として

①管内の社会教育活動の企画・実施 ②地域と学校の連携・協働が新たに謳われました。特に②についてはこれまで学校に関しての活動は委員会として殆ど行っておらず戸惑い、委員会では委員の皆さんと協議してまずは学校の状況を把握したいと思い学校運営協議会にオブザーバーとして参画して地域と学校を繋げるにはどのような活動をすれば良いのかきっかけを探しました。その中で校長ともお話をしながら以前から地域で行っている海岸清掃に児童、生徒が参加して頂き地区住民との交流及び地元海岸での漂着ゴミを目の当たりにする事により海洋汚染の実情を知る事により環境学習及び地区民との交流により地域と学校の



の漂着ゴミを目の当たりにする事により海洋汚染の実情を知る事により環境学習及び地区民との交流により地域と学校の

連携・協働の一助となるであろうと考えて、令和四年七月から毎年行っています。

常盤小、中学校、西岐波中学校の生徒児童に呼びかけています。毎年多くの参加者ですが特に今年は三校合わせて約二百五十名の参加者を得ましたが、今夏の猛暑で中止せざるを得なかったのは残念でありましたが、開始時間等を考慮してこの行事を委員会の地域と学校との連携・協働の核とする事を決定致しました。又今常盤小学校ではキャリア教育を進めており、地域住民の弦楽器工房代表者によるバイオリン製作、琴奏者による音楽授業などの出前授業の橋渡しも行っています。①の社会教育企画に関しても県美術館学芸員による講演、チェロコンサート等を地区民の方々生涯教育の一助として企画開催しています。



今後も学校を核とした地域づくりに常盤地区社会教育委員会として協力していきたいと思いをします。



あけましておめでとうございます

新年、明けまして、おめでとうございます。

年初に当たり、少なからず目標を立てました。

1. 啓蒙活動に伴い、外に出て実践活動をも重視する。
2. イベント、学習会で若者との情報交換の場を創る。
3. 2階の環境図書室を交流の場として有効活用する。

とにかく絵に描いた餅は、食うに食えない、今年こそは、笑顔で終わりたいと願います。

1年を通して精一杯頑張りましょう。

うべ環境コミュニティー理事長 加藤泰生

今年は、UKCのESDレポリューション元年です。

1月26日(日)午前高校生が「20年後の持続可能な社会の課題を想定し、自らどのような課題に取り組みたいか」というSDGsの「自分こと化」についてのESD資質向上研修会を行います。午後は、「渡邊佑策 生誕160周年記念討論会」です。今年も「宇部市文化創造財団」や「まじめ川ミズベリング実行委員会」と共同企画してうべ環境コミュニティー活動の告知方法を考え、存在確立に向けて邁進していこうと思います。

副理事長 大濱進治

旧年中も、うべの未来を想い、地球の視座でウェルビーイングを多様なカタチで尽力される方々に出会いご示唆をいただきました。新年も引き続き、心身脳の進化を導く自然・生きものとIT/AIが繋がる生涯発達社会づくりを目指して議論・協働をお願い申し上げます。

副理事長 小柴満美子

新年あけましておめでとうございます。

今年は特に健康面、食生活や体調管理に気を付けたいと思います。また能力や知識を向上させるために自己研鑽に努めます。そして仲間や家族との時間を大切に過ごしたいと思います。

職員 柏井真規子

あけましておめでとうございます。

私事、まだまだ未熟でございますが、4月で入社1年となります。本年は書類の整理・電子化やホームページの改修を行おうと画策しております。円滑な運営が行えるよう努めて参りますので、本年もよろしくお願いいたします。

職員 山崎晃弘

-- 今年もよろしく申し上げます。 編集部。